

平成30年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

図画工作科

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
二年	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩絵の具で虹色カタツムリやドーナッツを描き、淡い色づかいを楽しんでいる。 ○虹色カタツムリと色画用紙の背景を組み合わせて表現することを楽しめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩絵の具の特性を理解し、楽しみながら身につけていけるように指導する。 ○造形活動の基礎として、紙の特性を理解しはさみやカッターの正しい使い方を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な描画材や方法を採用して、子どもたちが発想の幅を広げて表現していけるような題材を選ぶ。 		
三年	<ul style="list-style-type: none"> ○小刀を使って木材を切ったり削ったりして意欲的に楽しく活動できる。 ○水彩絵の具と筆を使って描くことに興味を持てるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見たことや感じたこと、想像したことを、さまざまな表現方法で自分なりに表現できるような力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○描く、切る、貼る等の基本的な技能から、自分の表現の可能性を見出せるように、題材を工夫していく。 		
四年	<ul style="list-style-type: none"> ○木片をくぎ打ちでつないで、自分の作りたいものを自由に楽しく作ることができた。 ○「ビー玉コースター」では、カッターの特性を生かして豊かな表現ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしながら、自分なりの表し方を工夫する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な材料を用意して、実際に触れたり感じたりしながら、自分の表現方法を広げていけるような場の設定を工夫する。 ○またさまざまな技法があることを、折に触れて紹介する。 		
五年	<ul style="list-style-type: none"> ○『心のもよう』では様々な画材を使い自分なりの表現方法で意欲的に取り組むことができる。 ○友だちの発想や工夫に学び合う姿勢が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○想像力を働かせて発想し、材料等の特徴をとらえて、表現方法を工夫したり、構想を考えたりする力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○題材を工夫し、材料や用具などの環境整備に努めることで、児童がこれまでの造形活動の経験を振り返り、自分の思いや考えを、表現できるようにする。 		
六年	<ul style="list-style-type: none"> ○「木彫写真立て」では浮彫り技法を生かし自分でデザインした作品作りに意欲的に取り組める。 ○ポスター制作に取り組み、構想から効果的な配色を考え細部までこだわり、完成させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して、自分なりに計画を立てて、素材や道具などの特徴をもとに発想し、想像力を働かせてつくる力を養う。 ○自分の成長のあとを振り返りその内面を見つめる目を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを活用して、製作活動の計画を立てたり、つくりながら手順や組み立て方を考えたりするように指導し、完成の喜びを味わえるようにする。 		